

# 水産の窓

黒潮の北偏傾向は今後も継続  
0~100m深水温は、141° E以東で「やや高め~高め」、  
141° E以西で概ね「やや高め」で推移  
(令和5年1月の海況と今後の予測)

4 - N o . 2 5  
令和5年1月13日  
茨城県水産試験場

## 1 海洋観測結果 (1/5~6: 調査船「いばらき丸」)

- 水深別水温図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました。
- 水温は0m深で15~19℃台、50m深で15~19℃台、100m深で14~19℃台、200m深で9~17℃台でした(図2)。
- 前月と比較すると、気温の低下により海水が冷却されて鉛直混合が進み、0~50m深では全域で降温傾向となりました。100m深では会瀬の141° 20' E、200m深では会瀬の141° 30' Eと鹿島の141° 15' E以西および犬吠埼の141° 30' E以西で昇温傾向、他で降温傾向となりました(図3)。
- 平年と比較すると、0~100m深では概ね「やや高め」、200m深では会瀬~大洗で概ね「平年並」、鹿島~犬吠埼で「平年並~高め」となりました(図4)。
- 潮流は犬吠埼の141° 15' E以東と会瀬~鹿島の141° 30' E以東で真潮傾向、他で逆潮傾向となりました。

## 2 本県周辺海況の現況

- 本県海域の0m深水温は15~19℃となっています(図1)。
- 黒潮は犬吠埼の東40マイル、塩屋埼の東60マイルを北北東に流れています。黒潮の北限は143° E付近で38° N付近まで達し、北偏しています(1月10日海上保安庁「海洋速報」より)。
- 茨城県沖で黒潮が立ち上がり、その反流によって本県沿岸域も暖水で覆われています。親潮系冷水の差込みはみられず、水温は平年よりも高くなっています。

## 3 今後1か月の見通し

- 黒潮の立ち上がりは今後も継続すると考えられ、141° E以東を中心に例年より水温が高くなる見込みです。
- 1か月後の0~100m深水温は、黒潮とその暖水波及により、141° E以東では「やや高め~高め」、141° E以西では概ね「やや高め」となる見込みです。

【参考】1月の0m深の平年値(142° E以西の30年間(1991-2020)の平均水温)

(定線別平年値\*) 会瀬: 13~14℃台、大洗: 12~15℃台、鹿島: 13~18℃台、犬吠埼: 15~18℃台

詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 小熊 進之介)

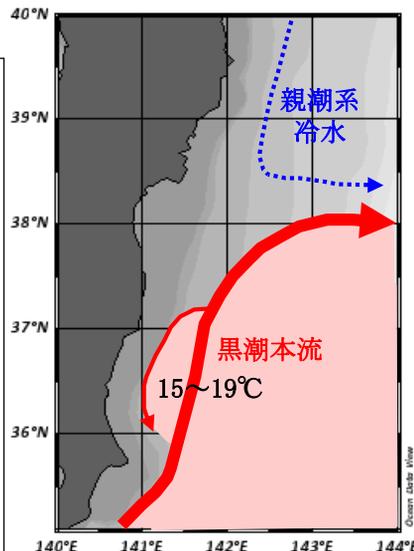


図1. 海況の現況  
(1月9日)

※水温は平年値と比較して、  
±1.5℃が「平年並」、  
±1.6~3.9℃が「やや高め・やや低め」、  
±4.0~6.0℃が「高め・低め」、  
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

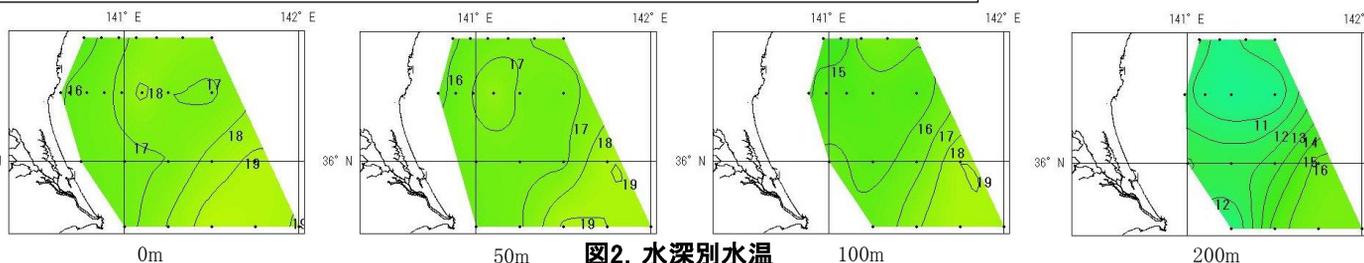


図2. 水深別水温

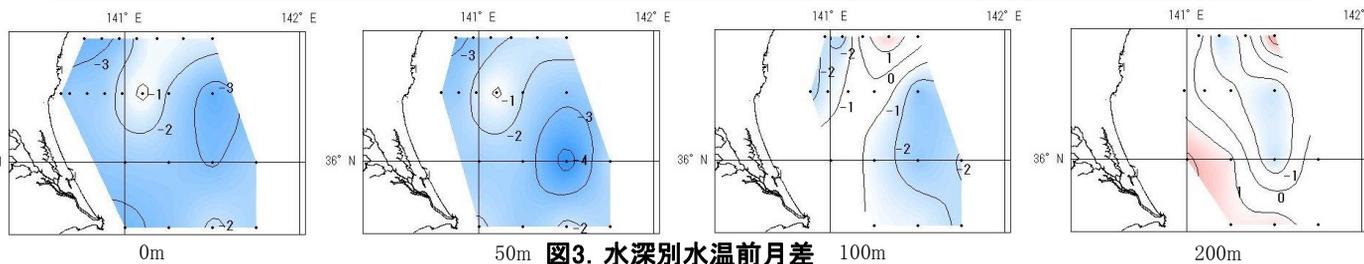


図3. 水深別水温前月差

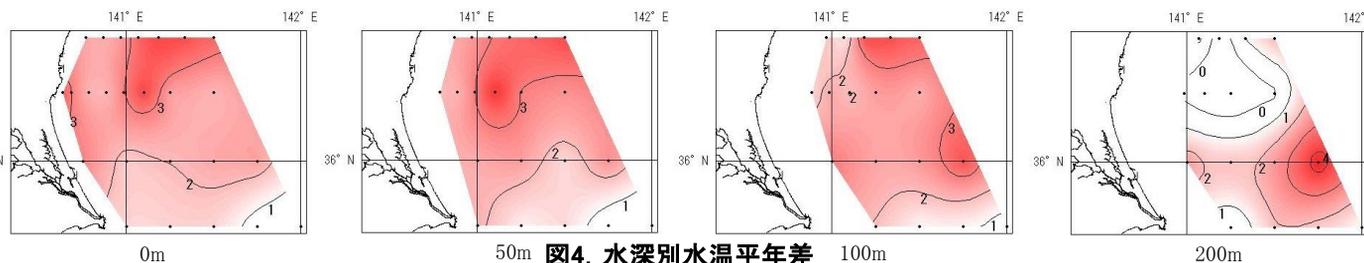


図4. 水深別水温平年差

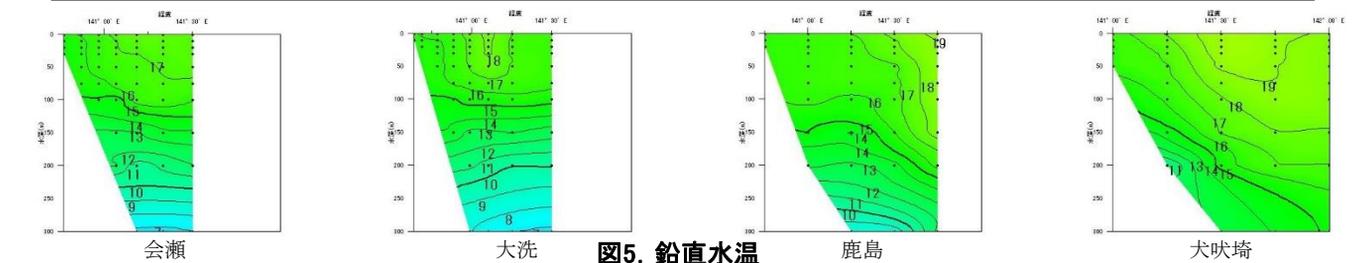


図5. 鉛直水温

【次号予告】R5.1.27.発行の「水産の窓」は、『ヒラメの資源状況』を予定しています。